

第13回 小田原超音波医学研究会

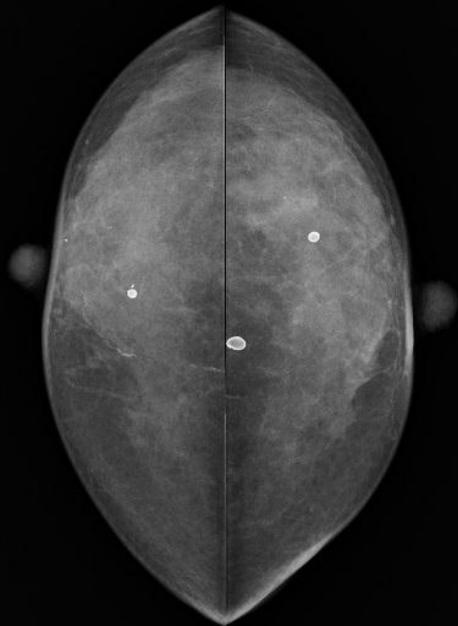
Intraductal proliferative lesions (乳管内増殖病変WHO分類)

※J-STARTの結果、超音波の有用性が証明され将来的には乳腺エコーはもちろん乳がん検診全体の分母が大きくなり比例して前駆病変に遭遇する機会も当然増えてくる1例は日本乳癌学会分類で画像から鑑別の検討は可能かという症例。もう1例の結果は白か黒かの診断が難しい病理診断結果となりました。今までの鑑別の枠組みでは難しい症例ということで提示させていただいた。

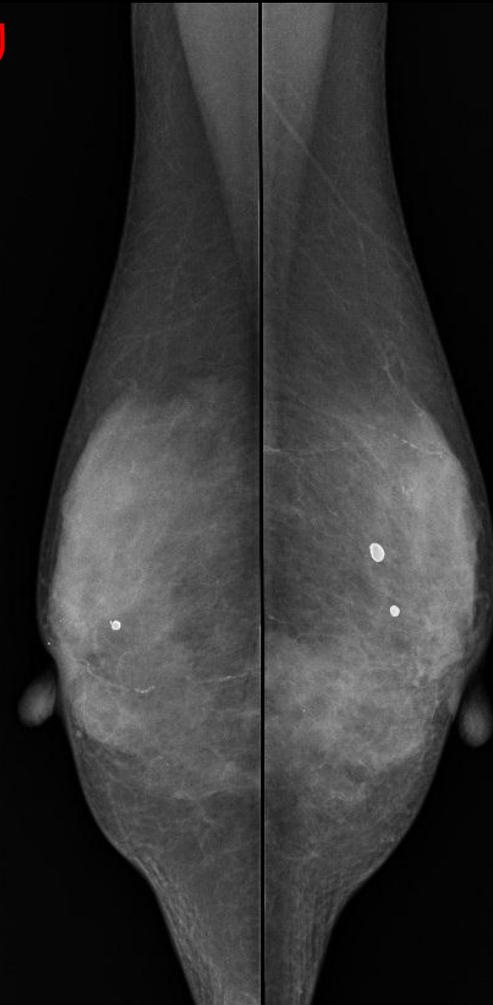
山近記念総合病院 放射線室

大久保 実彦
(2016/05/31)

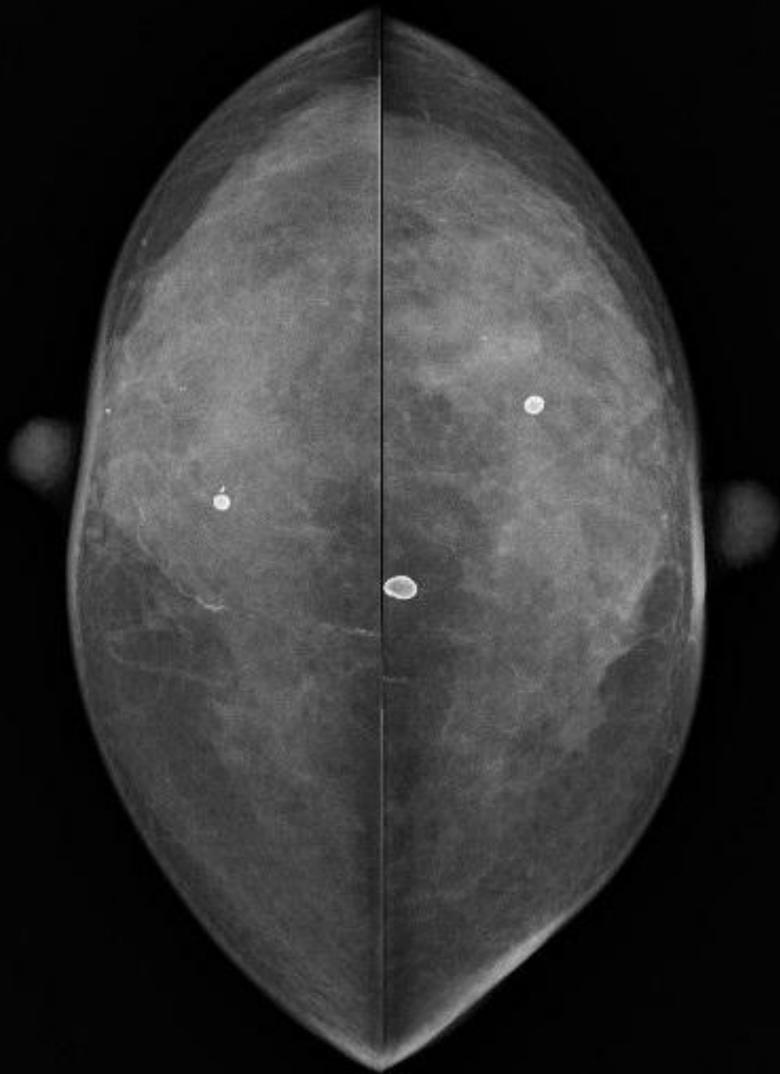
- 77歳 女性U
- 既往歴: アルコール性肝硬変
- 視触診: ④D領域硬結あり
- MMG



CC



MLO

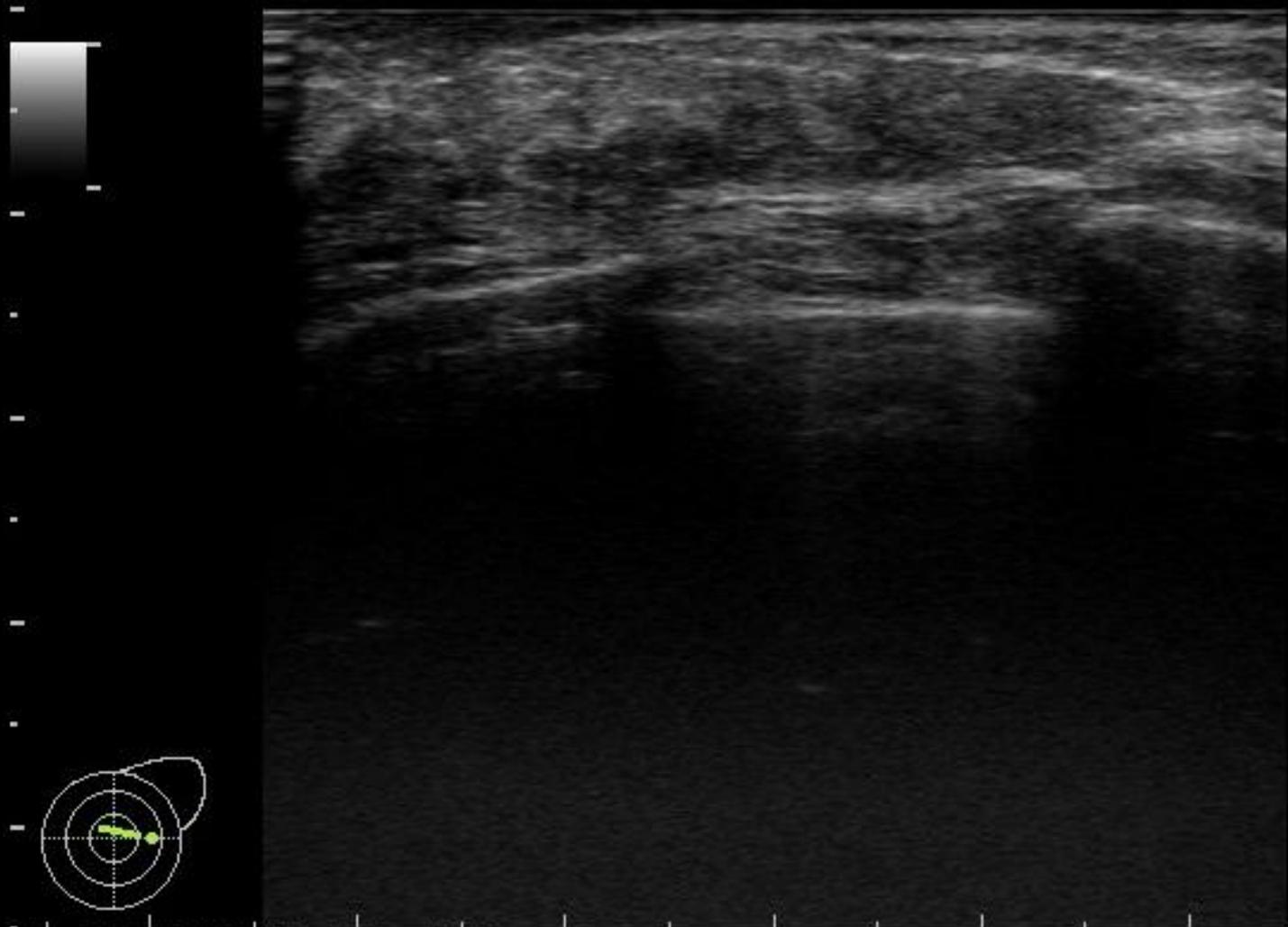


④D領域の硬結部分は？



指摘できる所見は認められません

硬結部分の超音波



100%

90/91
16Hz

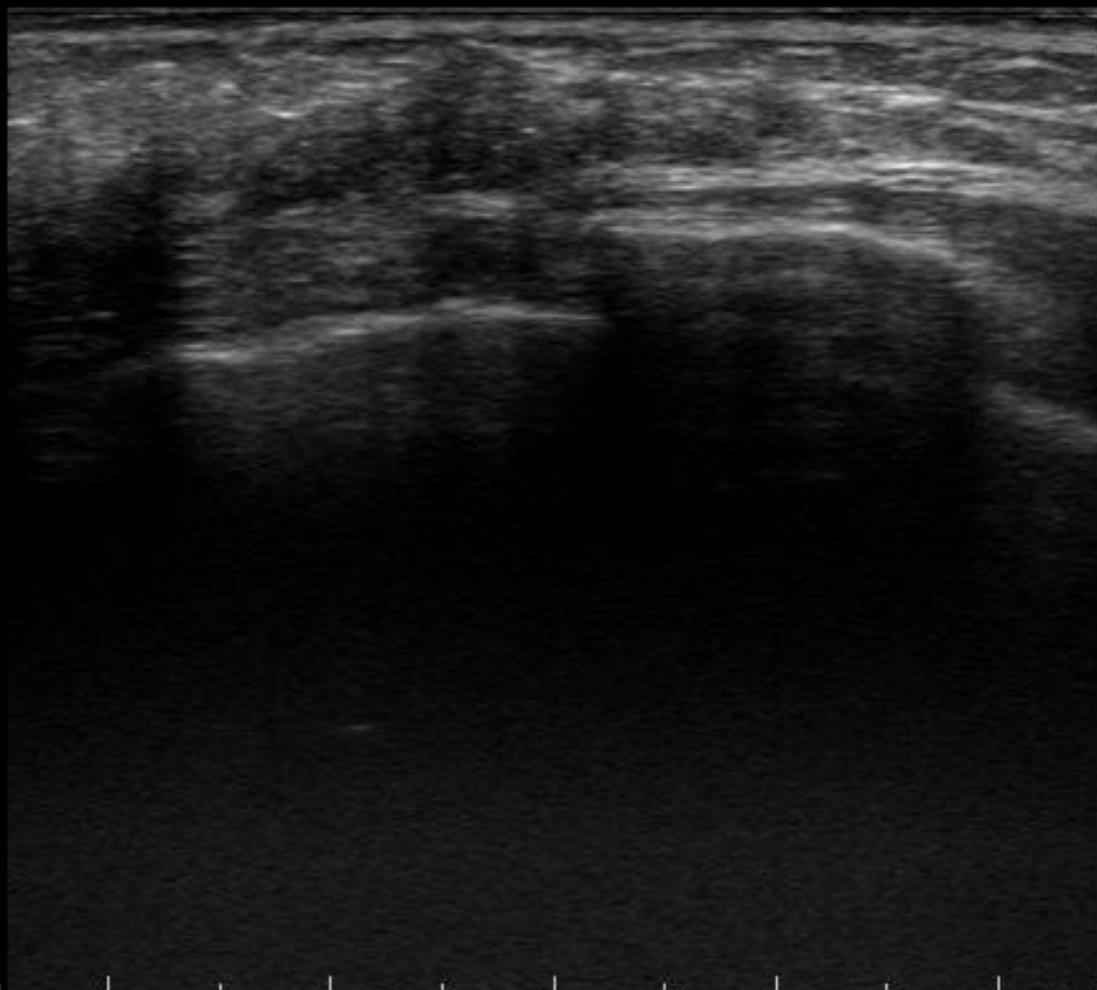


8.00MH R4.5 G72 C13

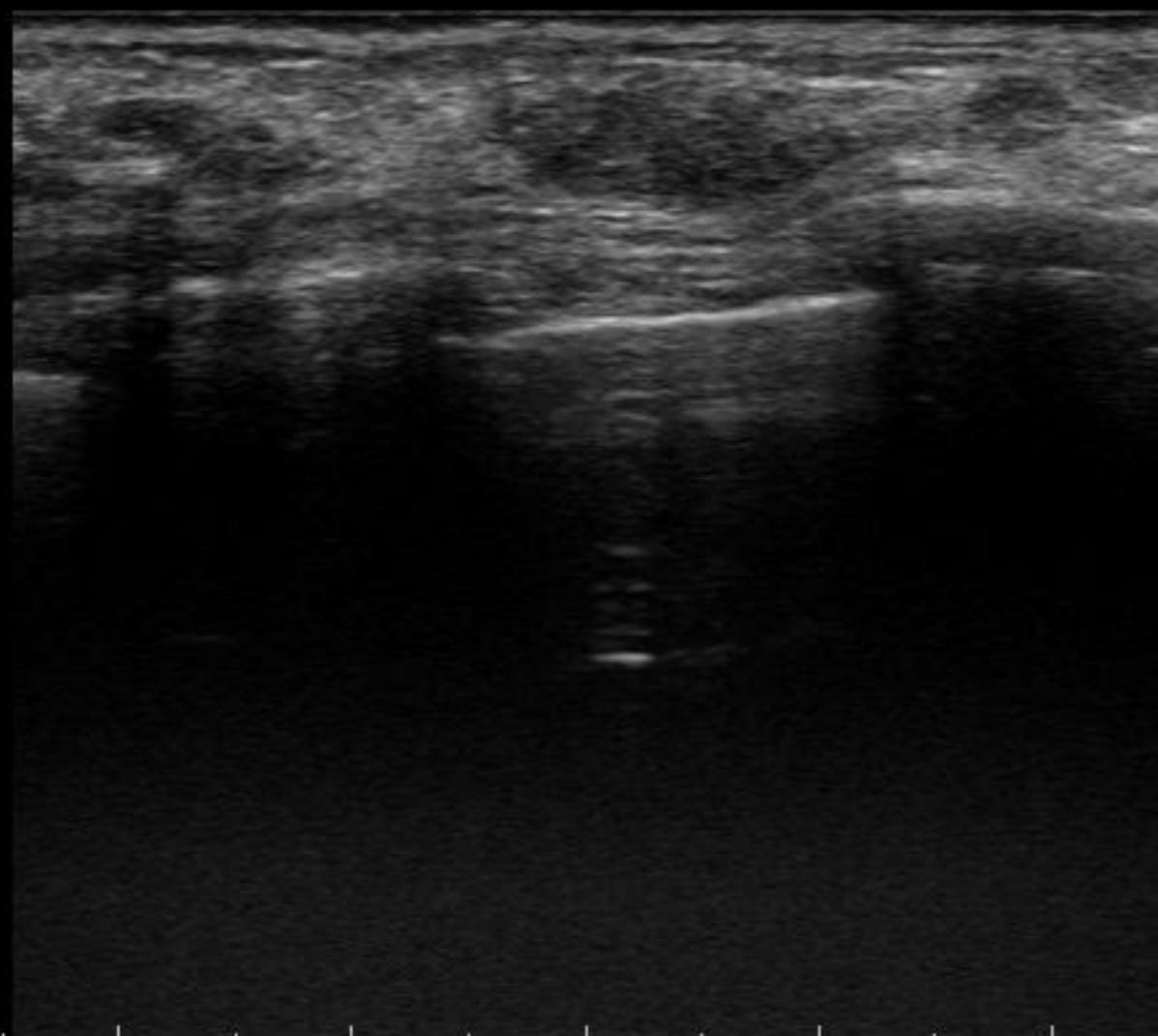
21 × 16 × 5mm

100%

48/49
16Hz



8.00MH R4.5 G72 C13



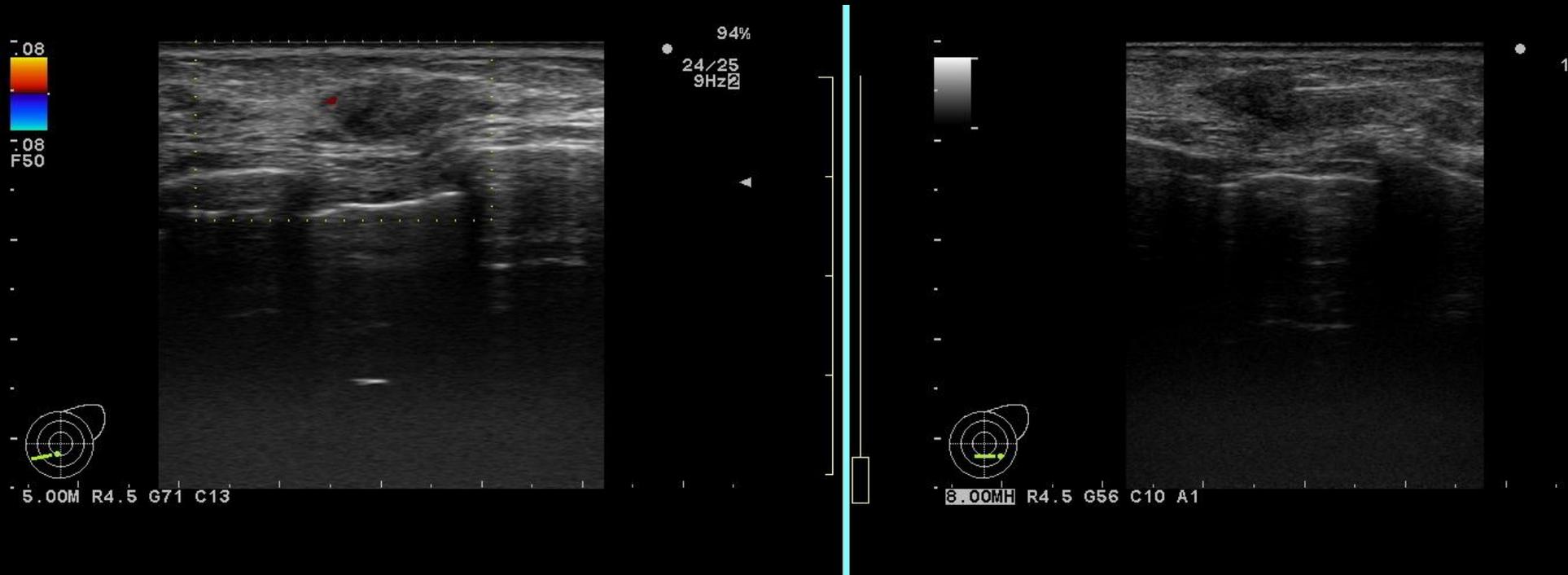
8.00MH R4.5 G72 C13



100%
301/302
16Hz2



穿刺吸引細胞診



US: ①扁平不整低エコー型

鑑別診断: DCIS

FNAC⇒class 4(apocrine ca疑い)

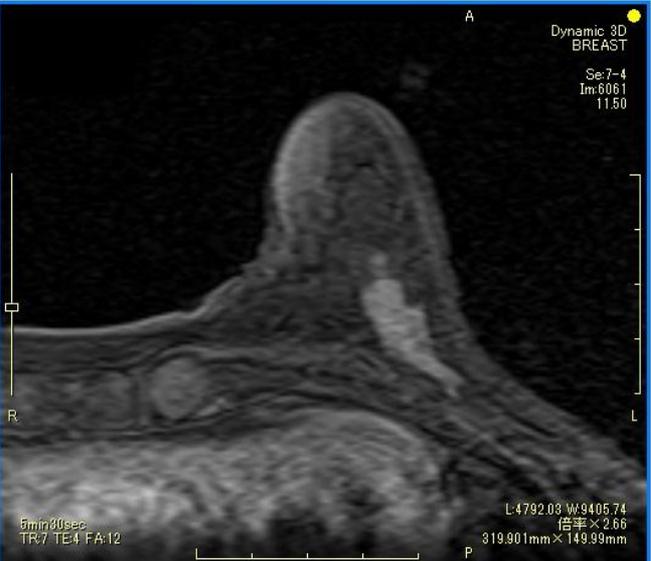
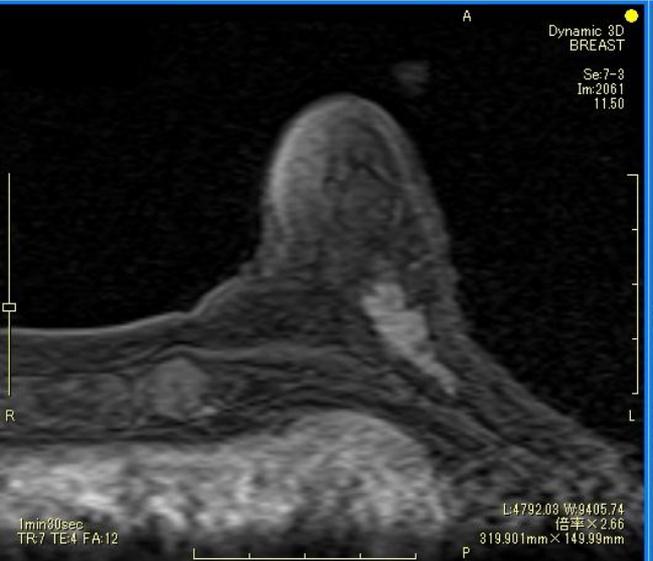
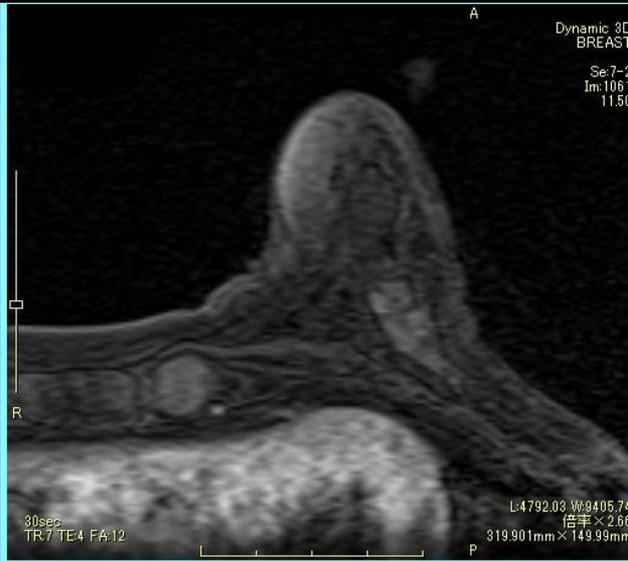
MRM 造影剤:ガドビスト



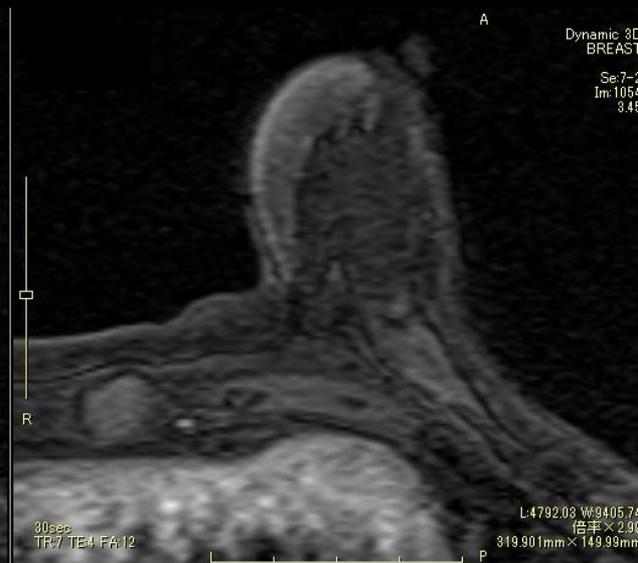
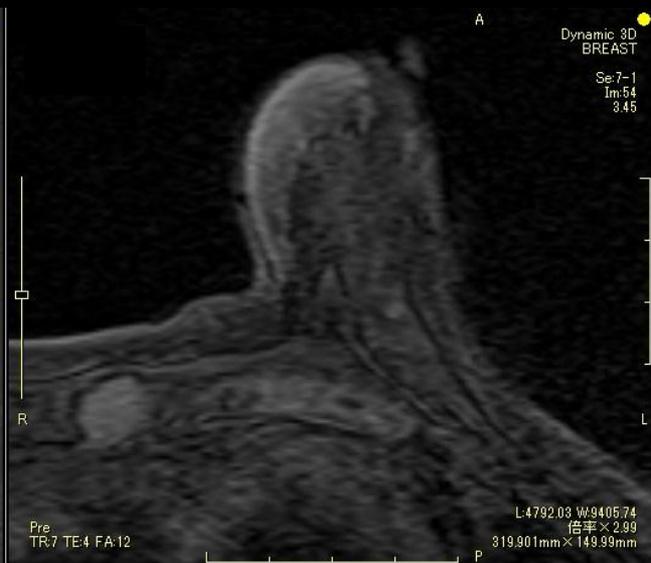
Ⓢ外側に非腫瘍性の異常高信号

非腫瘍性病変で検討すべき項目

- * 分布
- * 内部増強パターン



分布は区域性

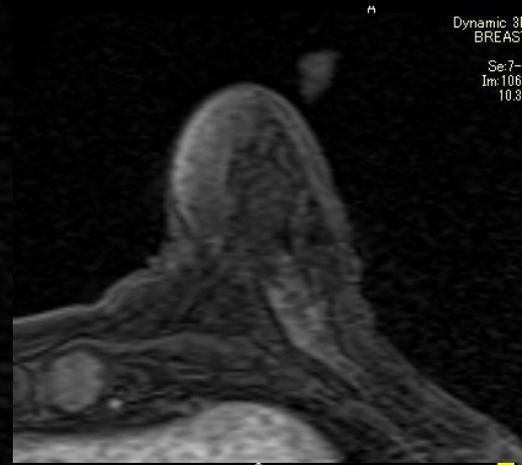
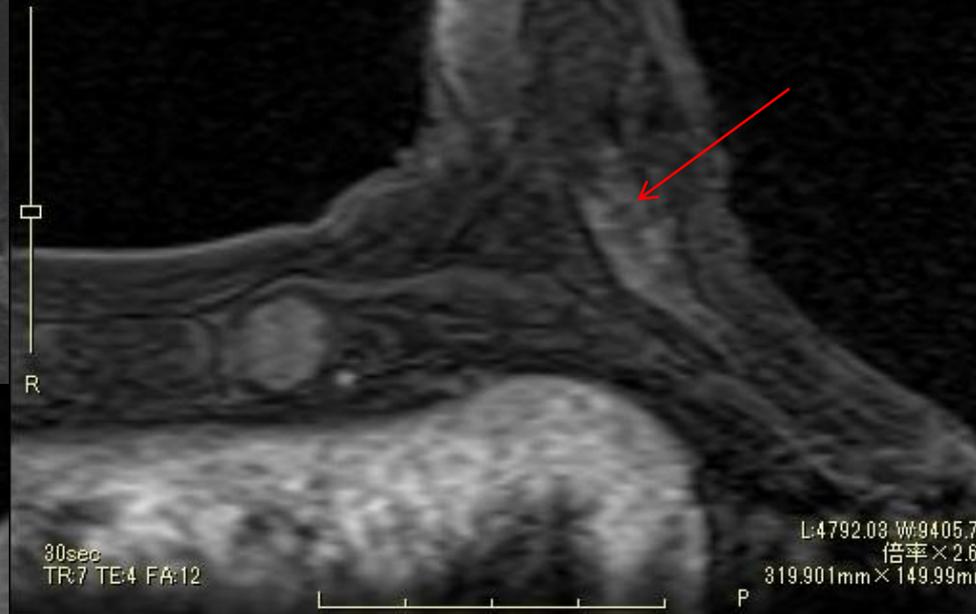
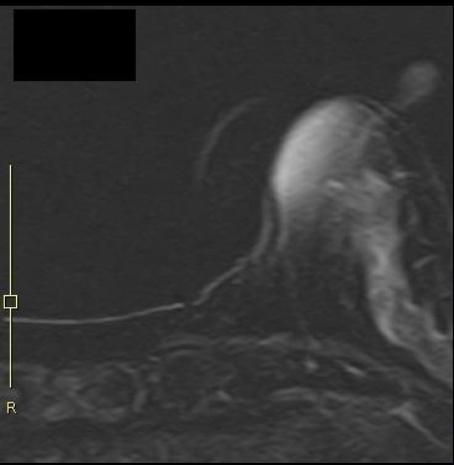


Dynamic 3D
BREAST

Se:7-
Im:106
10.3

内部増強パターン

管腔構造:hypo → iso



Dynamic 3D
BREAST
Se:7-
Im:106
10.3

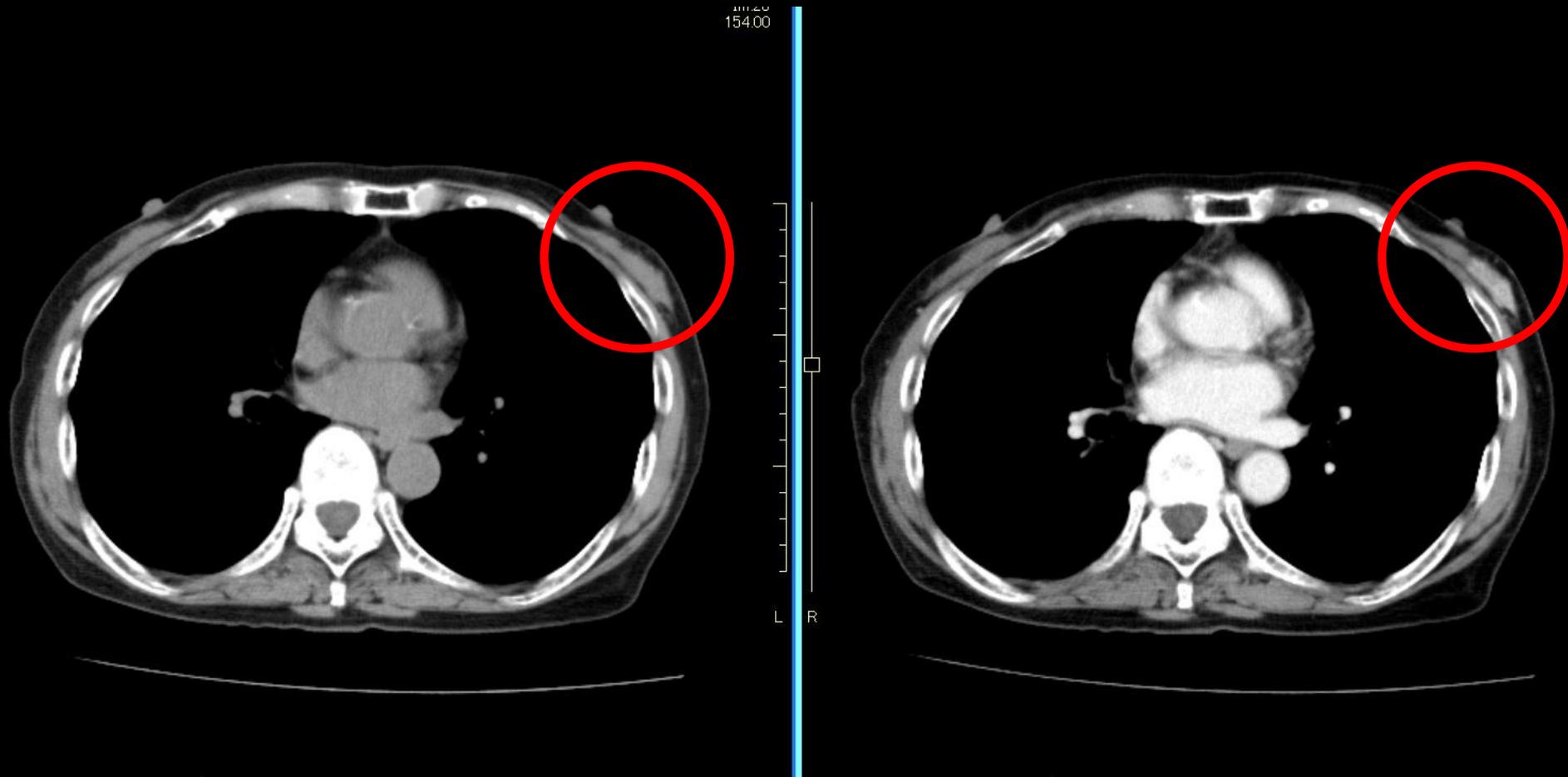
Dynamic 3D
BREAST

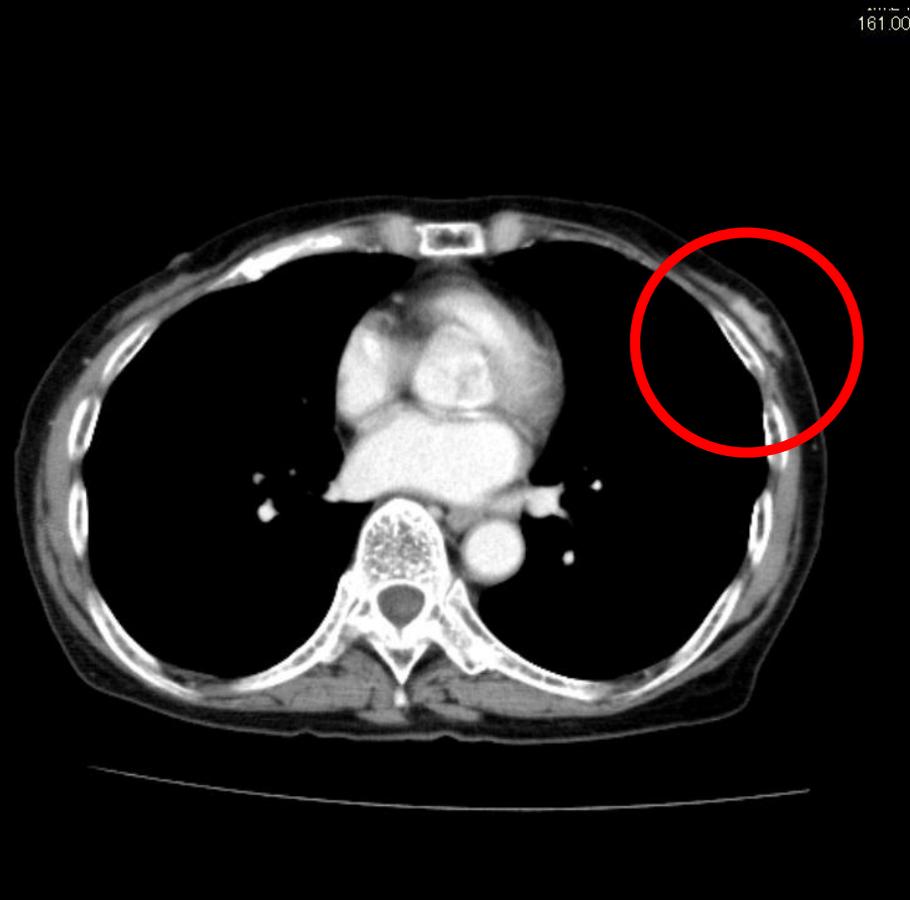
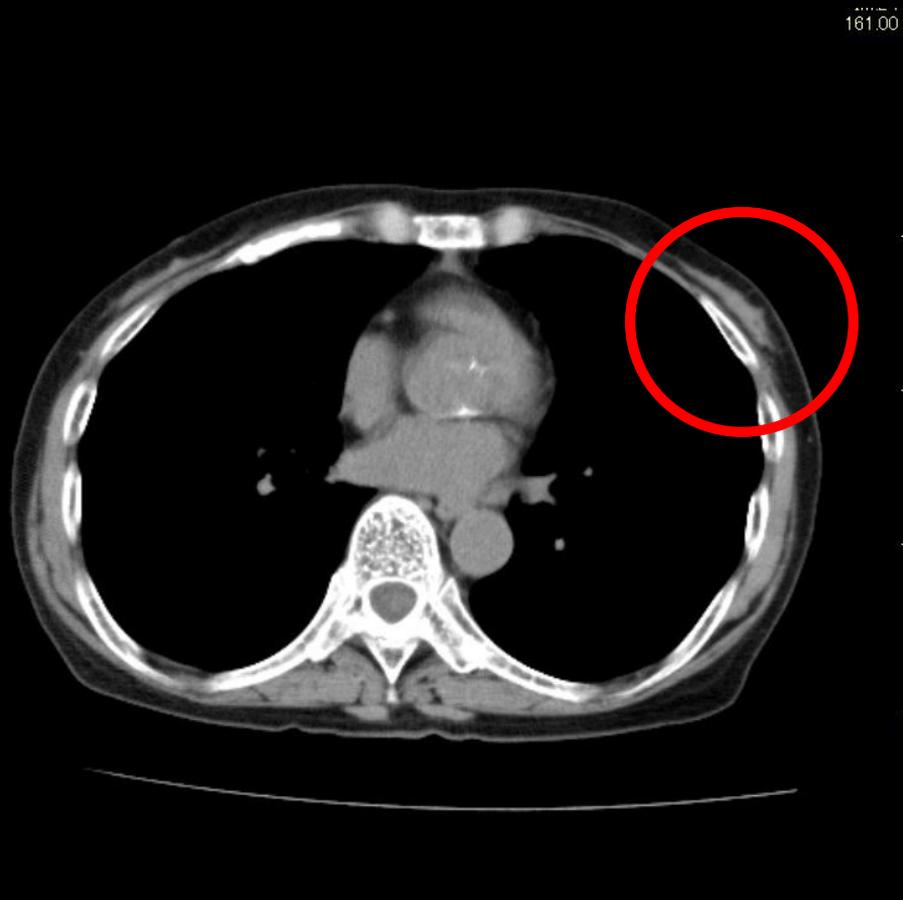
Se:7-4
Im:6060
10.35



BI-RADS: カテゴリー4bと判断
鑑別診断: DCIS papillotubular

CT造影でも①外側区域に造影効果





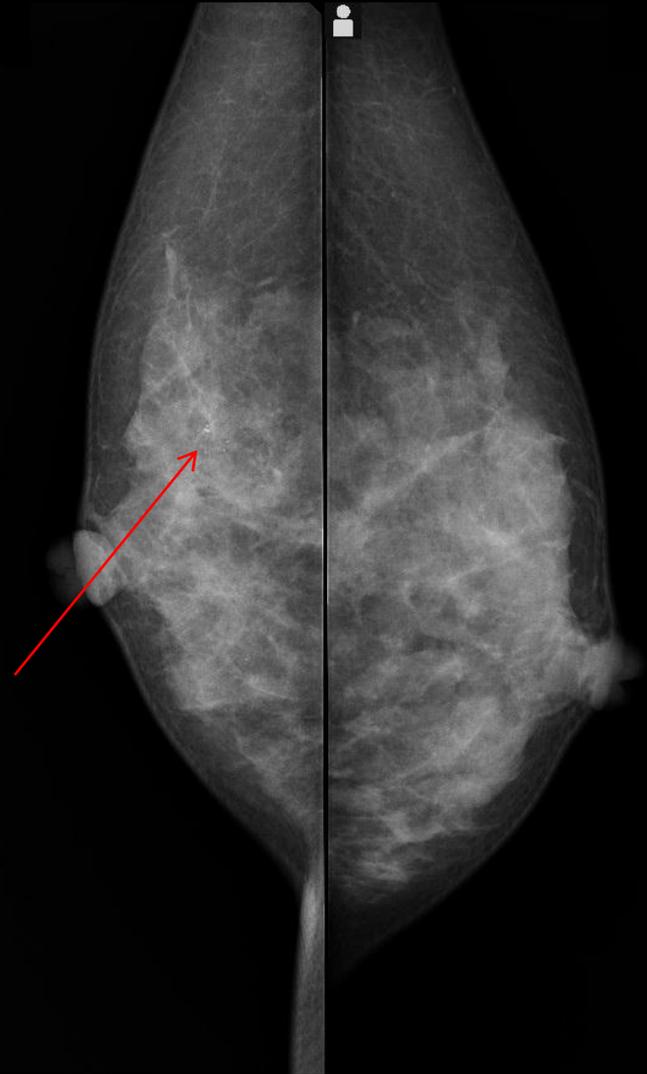
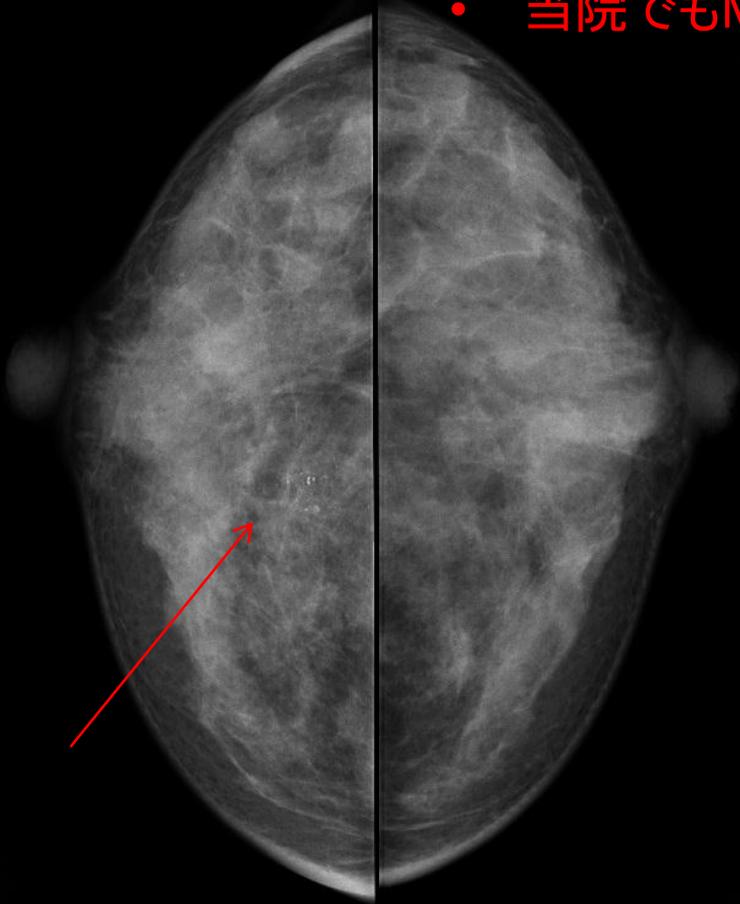
④左乳腺全摘：High grade DCIS

Intraductal proliferative lesions
(乳管内増殖病変WHO分類) 2/2症例

山近記念総合病院 放射線室

大久保 実彦

- 41歳 女性i
- K病院より紹介、MMGでⓈ石灰化病変でcat4
- 当院でもMMG撮影へ

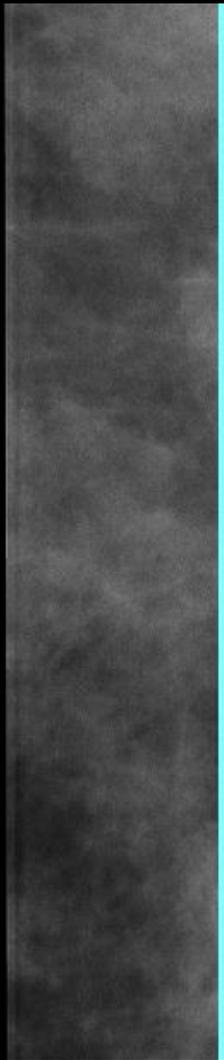
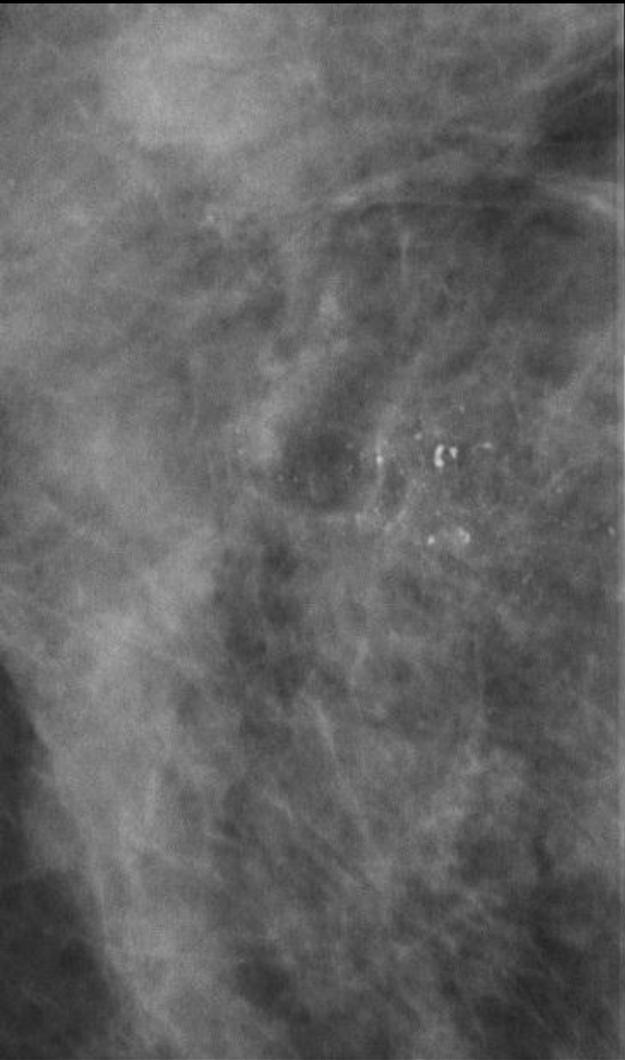


26 kVp

26 kVp

26 kVp

26 kVp



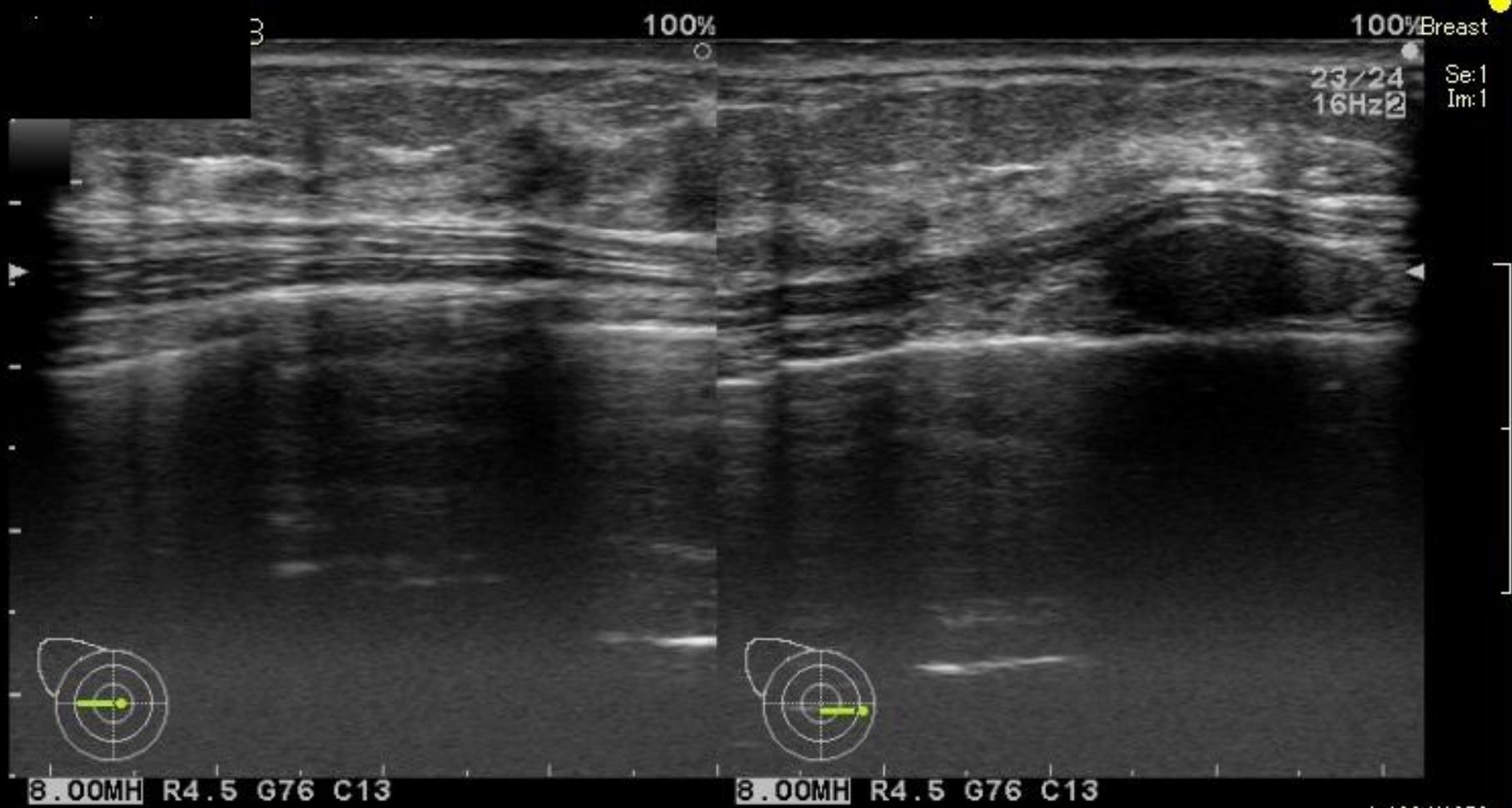
形状：微小円形

分布：集簇 区域？

石灰化密度と線状配列？

Cat 4と判断

石灰化部分？超音波



L:128 W:256
倍率×0.94
91.8367mm×68.8776mm

100%

100%

30/31
16Hz

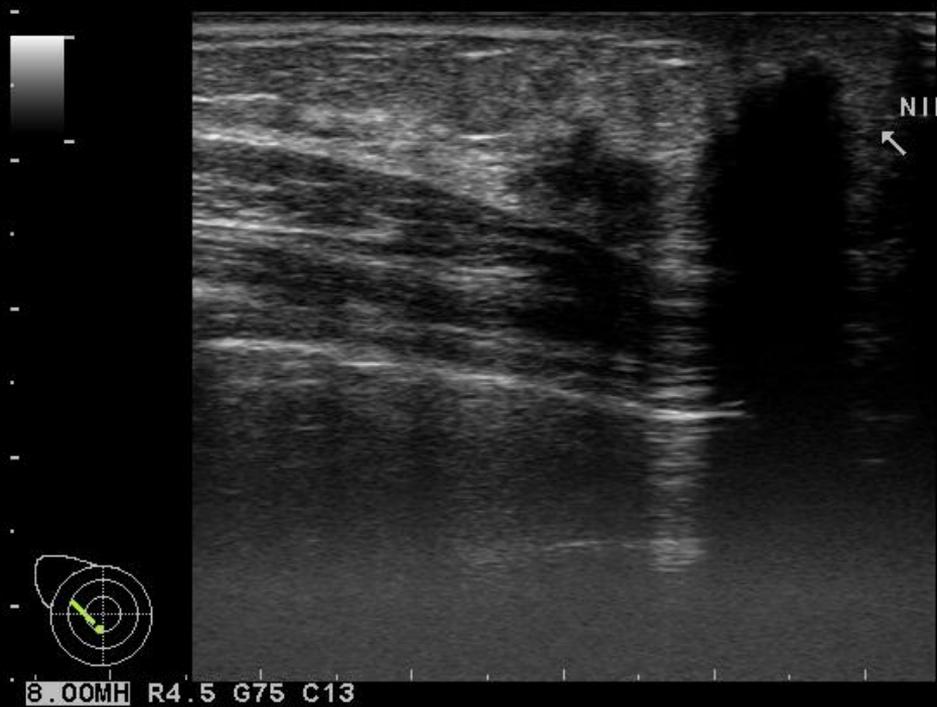
101/102
16Hz



8.00MH R4.5 G75 C13

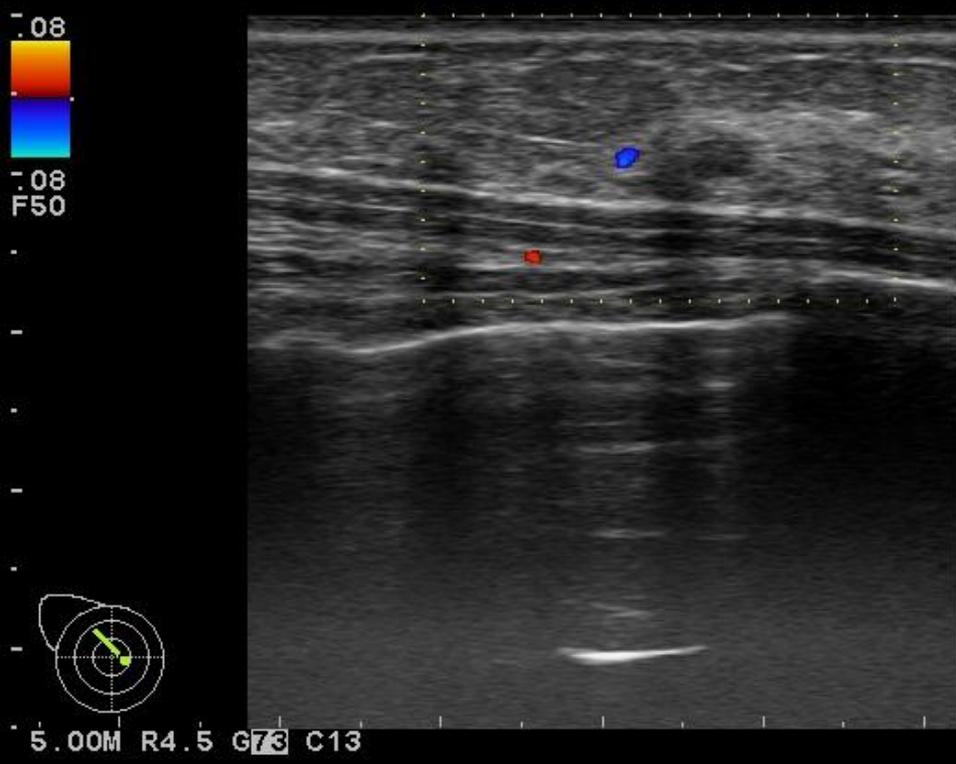


8.00MH R4.5 G75 C13

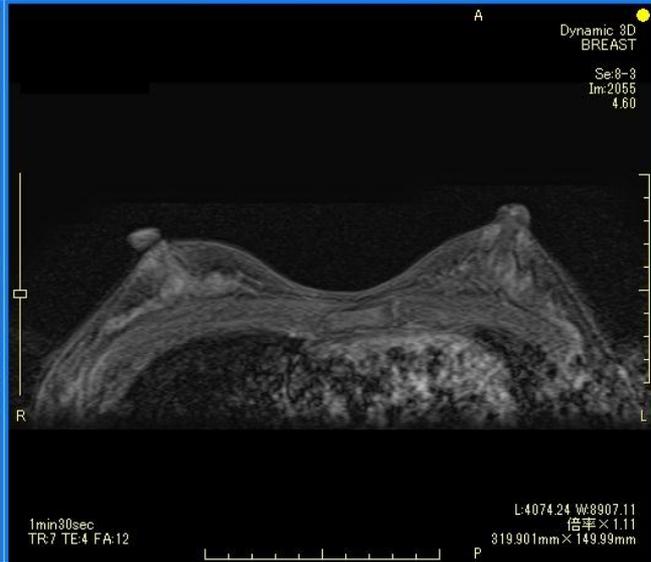
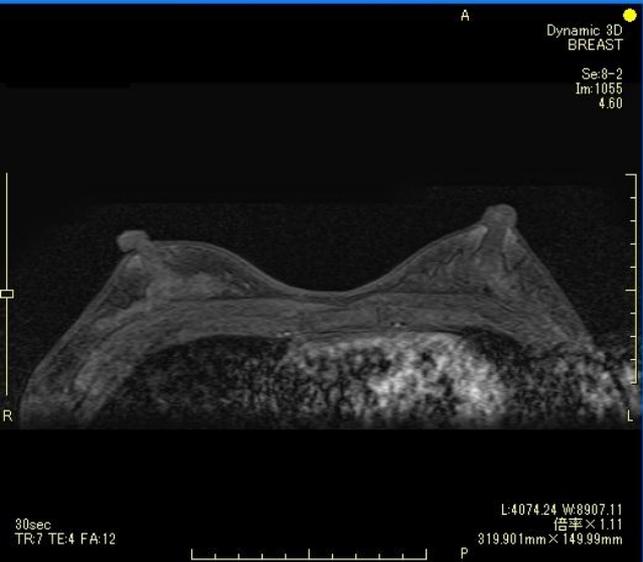
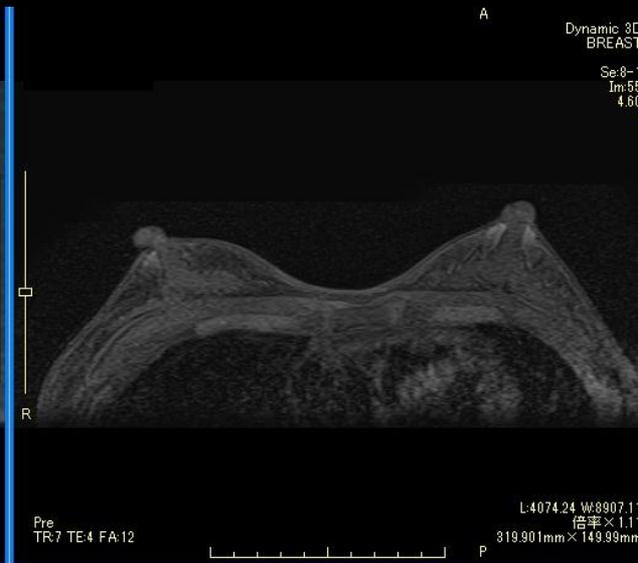




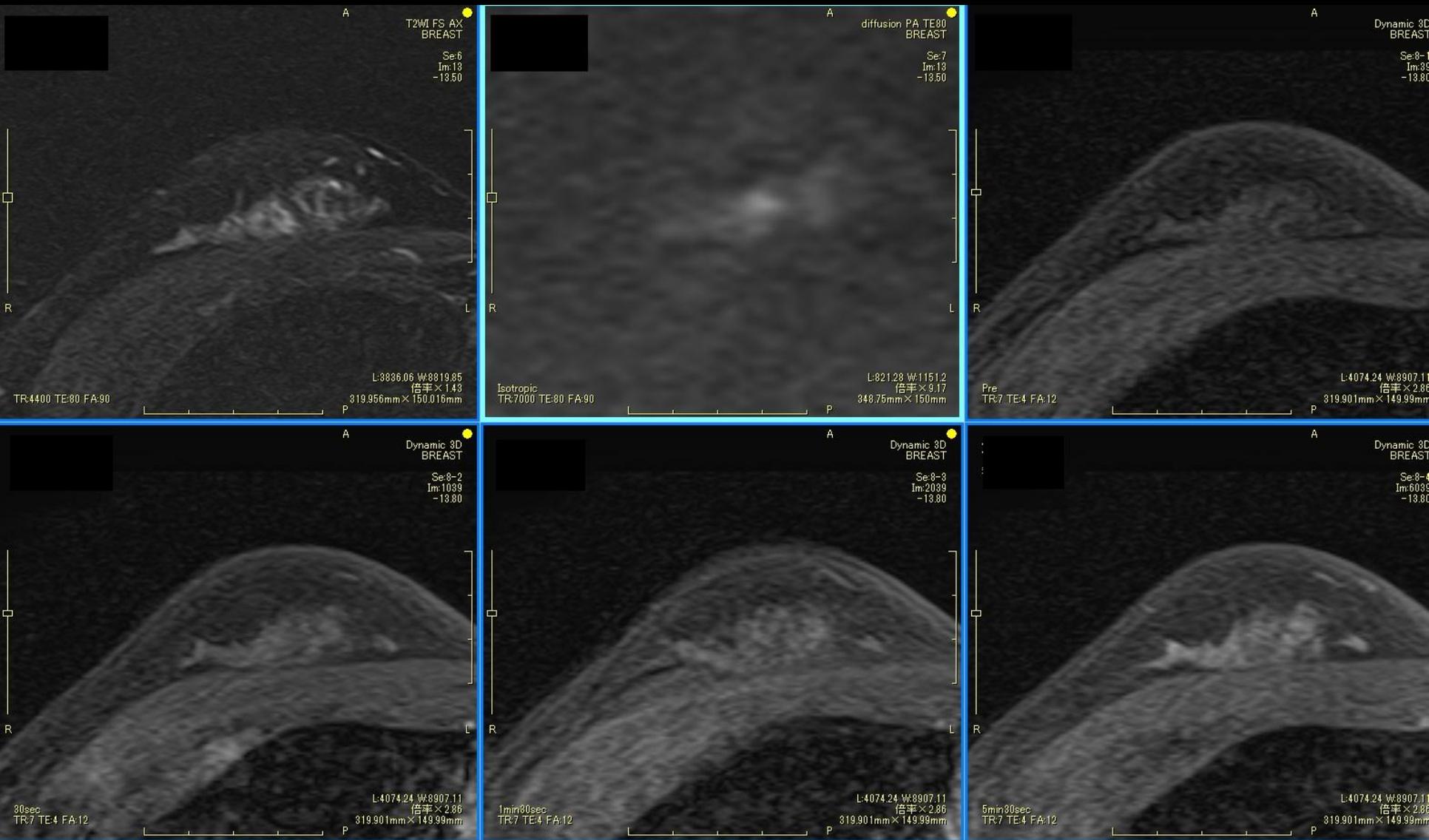
⑦AC領域に5mm以上10mm未満の不整低エコー、辺縁の評価、石灰化は？
鑑別はあげられるか？



MRM:異常な増強信号は認められない

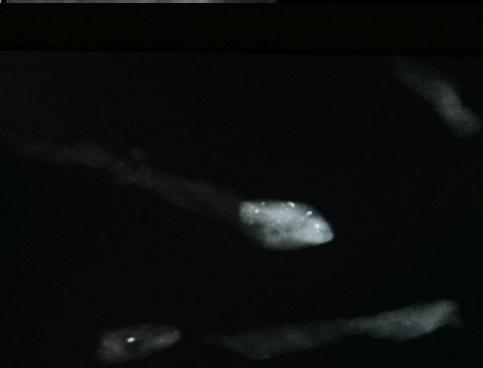
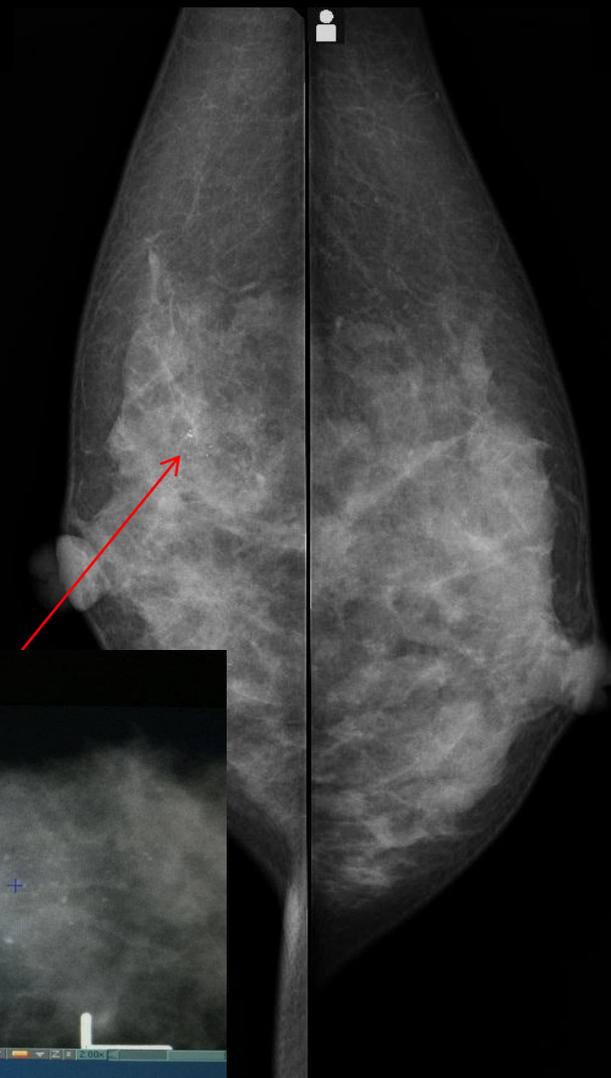


悪性を疑う所見なし



鑑別: 乳腺症

MRMで石灰化部分評価できずマンモトーム



マンモトーム生検結果

Adenosis or mastopathy with focal DIN 1
(ADH or low grade DCIS)

Intraductal proliferative lesions (乳管内増殖病変WHO分類) 2症例

- 77歳 女性U
- 既往歴: アルコール性肝硬変
- 視触診: ①D領域硬結あり
- MMG: 異常なし
- US: ①D領域扁平低エコー域
- 低エコー域に血流+
- FNAC⇒class 4(apocrine ca疑い)
- MRI: 区域性に異常増強信号
- CT: ①外側区域が造影効果あり
- High grade DCIS

- 41歳 女性i
- K病院より紹介、MMGで②石灰化病変でcat4
- MMGで②石灰化、微小円形不明瞭な石灰化の線状配列でcat4
- AC領域に低エコー石灰化?
- MRM: 指摘できずマンモトーム
- Adenosis or mastopathy with focal DIN 1(ADH or low grade DCIS)

DIN 1A FEA
1B ADH
1C low grade
DIN 2 intermediate
DIN 3 high grade